

第1回 JBCF 舞洲タイムトライアル

Jエリートツアー第2戦 / Jフェミニンツアー第2戦

開催日/ 2015年4月4日(土) 開催地/舞洲スポーツアイランド イベント広場内特設コース 1周/2000m

【特別規則】

2015.3.11

- (1) 1周 2000mの特設コースを使用する。
- (2) スタートは発送台を使用して行う。
- (3) スタート時間の15分前までに機材の検査を受けサインシートにサインすること。
- (4) 検車完了後スタート地点から離れた場合は再度機材の検査を受けること。
- (5) TT用機材、装備を認める。2014年JCF競技規則集第16条、UCI技術規則の明確化ガイドを参照のこと。
- (6) ヘルメットについては『JCF公認シール』の確認出来る物のみ使用可とする。エアロヘルメットも同様とする。
- (7) 規則に適合しない機材、装備で適合させることができない場合、出走は認めるが、失格(DSQ)とする。タイムは計測する。
- (8) スタート時間に遅れてきた選手への対応←UCI2.4.012によれば、スタータ予定時刻より計時開示するとあるが、適用するに問題ありと判断した。

①遅れてきた選手は最後に出走する。

理由：正規スタート選手との間に遅れてきた選手を出走させると舞洲コースは狭いため、コーナにおいて追いつきが発生した場合、事故を誘発する可能性が高いこと。従って、30秒のペナルティを与えて出走することを認める。

②役員ミスによる正式スタートができなかった場合

最後に出走させるもペナルティタイムは取らない。

- (9) ドラフティングを行った場合、ペナルティの対象とする。コミッセールは注意すると共にドラフティングのタイムを計測する。
- (10) アップ&ダウンは指定場所以外では行わない。
- (11) レーススケジュールは変更する場合がある。コミュニケ、場内放送に注意すること。
- (12) ※バイクチェックのポイント

重量は6,8kgを切らないこと。/2011年以後UCIに登録された新技術フレーム(カーボンフレーム等)は、UCIの認証マークがクリヤ-貼付されておれば、そのフレームは認証マーク確認により、フレーム寸法検査を免除される。/新技術でない伝統的工法のフレームは、メインチューブ最大高8cm、最少幅2.5cm、バックステイ、フロントホークの最小幅、厚さは1cm、とルール上のフレーム寸法がその範囲にあれば、UCI認証なくとも使用できる。サドル先端は、BB中心垂線より5cm以上後方にあること、身体形態上で前方に出さねばならない選手(小柄)は、バイクチェック時口頭申告すること、但し0cm以下は絶対認められない(申告書提出と乗車確認本年なし)。/BBの垂線からクリップオンバーや、変速操作部の先端が75cmを越えない握り位置であれば固定を認める。/身体形態上(大柄)の理由により80cmまで、なお身長が190cmを越える場合は更に5cm延長できる。※上記身体形態上の免除は、ハンドルバー部の前進か、サドル先端の前進のどちらかのみしか要請できない。/上記外は、UCIおよびJCFのホームページ、また『JBCF GUIDE 2015-2<競技編>5-(8)』を参照すること。

不明な点があるものは、JCFサイトの「自転車競技に使用する機材の規則遵守について」<http://jcf.or.jp/?p=30006> および「UCI技術規則の明確化ガイド」を参照し、それでも判断がつかない場合は、チームメカニック、チーム監督と相談のうえ、チーム代表者から、JBCF事務局事業部まで、大会の10日前までにメール(race@jbcf.or.jp)で問い合わせ、確認を取ること。なお、問合せの際は必ず、具体的に機材のメーカー名、品番等、当該機材の写真、メーカーや日本総代理店のサイトの当該機材の詳細やスペックのリンク先、どうして判断がつかないのかの理由などをまとめ、メールに記入すること。

COMMISSAIRE PANEL

以上